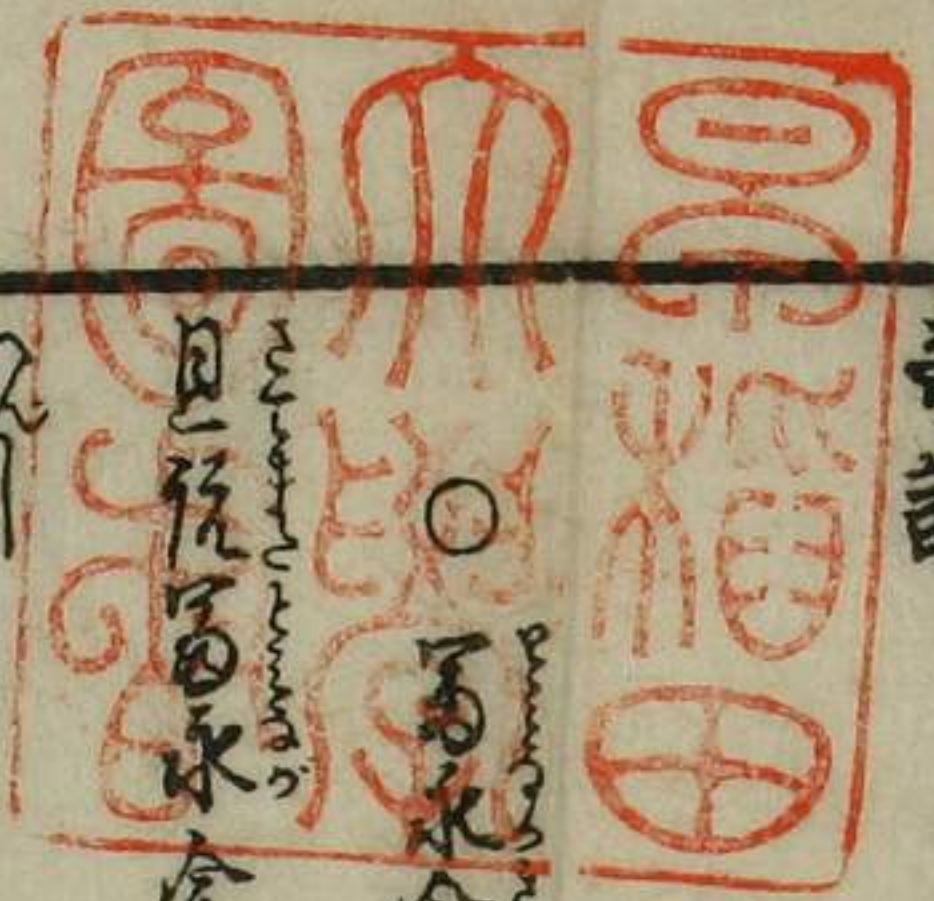


遠へ 13
846
5



遠門
 號 876
 卷 5



復讐 奇談 幸物語卷之五

遠島自浪死於客舍

鬼卵著

明治三二年
 十月十日
 購米

○馬水金左衛門の娘は千葉と改名を假借し、
 且後富永金左衛門の娘おまへお世ふと名をとりてありける。後世の志どし
 巧明もこのまへお世ふと名をとりて歌が守人と信じて新町本屋へ
 立紙名も千葉と改め、千葉と改め、千葉と改め、千葉と改め、千葉と改め、
 事。千人より百人と改め、百人より十人改選ひ、十人より一人を改選ひし。幸中盤
 所。前もまへお世ふと名をとりて、おまへお世ふと名をとりて、おまへお世ふと名をとりて、
 女控への行を帰らんと、千金改出し、床に入ると、女控もまへお世ふと名をとりて、

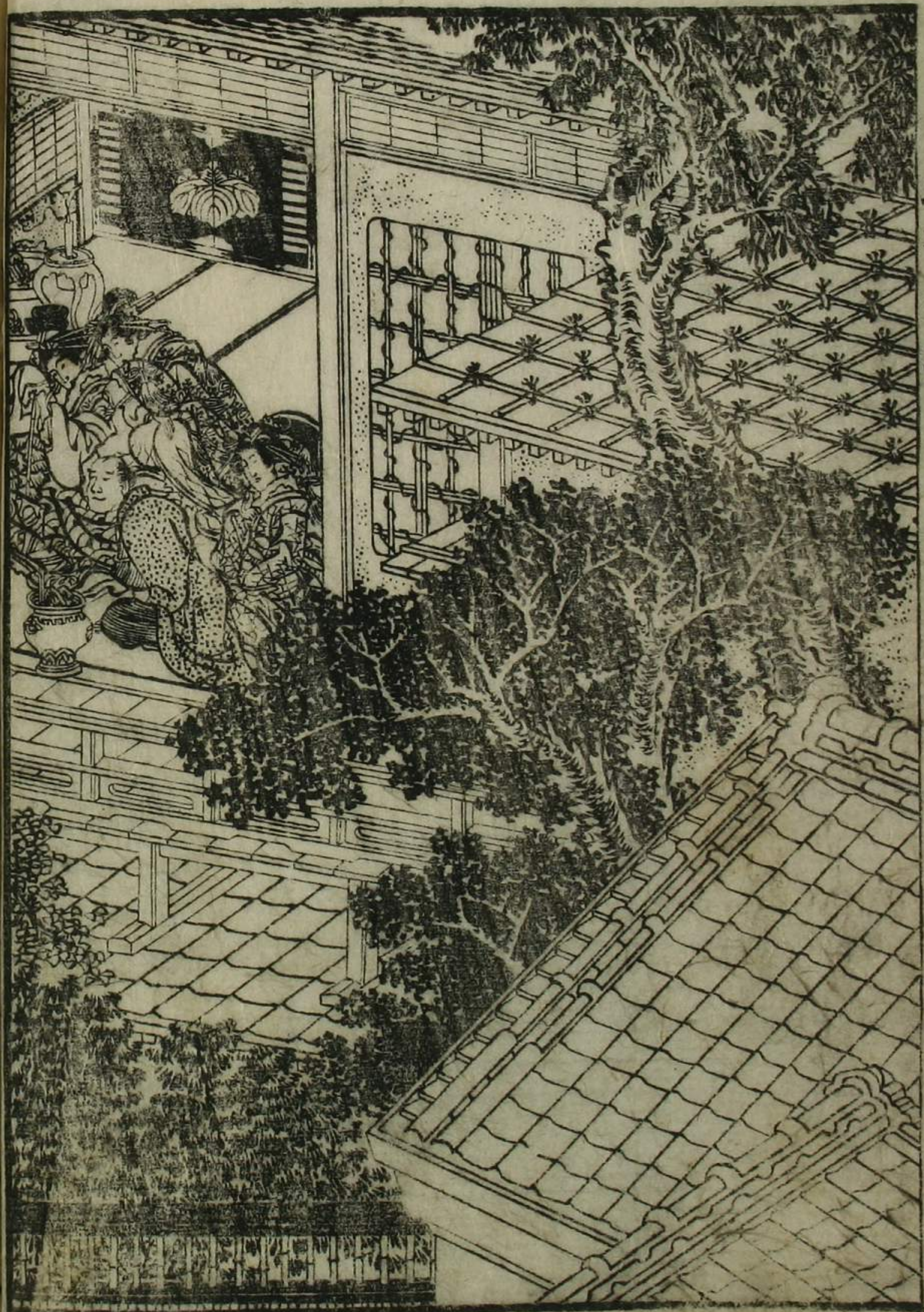
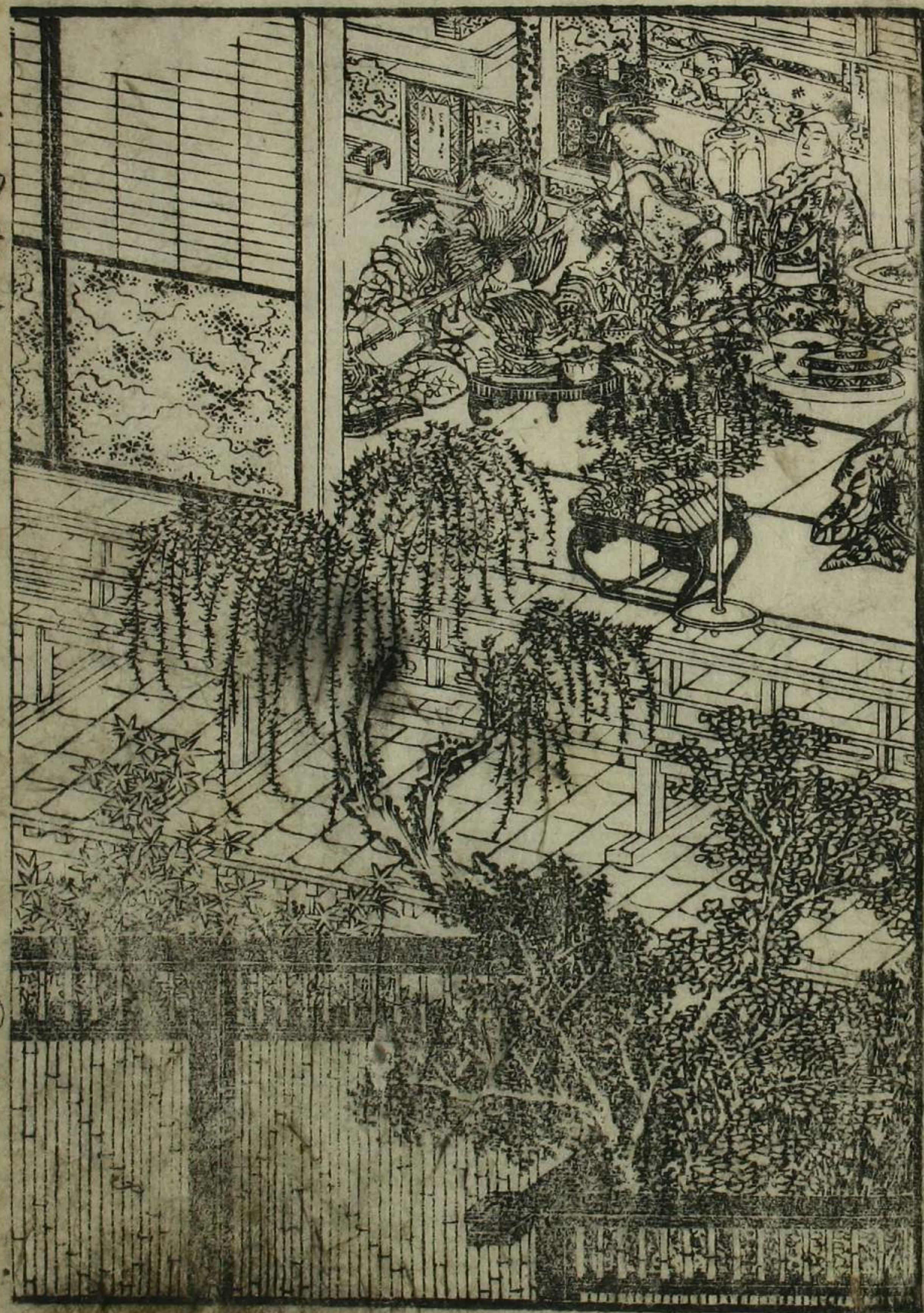
幸物語卷之五

千葉



ねい小所能憐し仇名しとる千業いね置う貰ひし金りて申右引
 船んととる者ども小いんをまじ金小引うんふまじ千業いね置
 皮のふくはくちひるにすて川井の苦味もともちんべんは飲のれ集せ
 尋ぐる夏は播力四の障ま赤松の二男鬼治命とて容をまぬのま老
 あうお字家の小性役い動ちてお屋長さるものまけしに去年よりま
 方のぬと病よは歩伏るまお屋長大人ひん成いふのひ早くま生しに
 典業の頭いけけ難波へ出係す家いふとせしとま全救ま治りて
 安成心在所に志つひん是へ編うたまへい播力四も家先并撥八十八
 小千両箱い持せ付まざる小と鬼い序屋の月毎に迫りうり僕ぞく

石つと通達一あひるが典業の取八十八は法して老角名願の四病乳
 書籍に眼いとしのいにも替者命う起るままお替者いぬるい遊里に
 志くいねいお助ちておととてお屋長い出とてまへい動まま鬼い序屋の
 んよい助まねどもお屋長の有難と思ら一日も早くお振してお屋長
 謝するにまじしと被さるがま助にすう世新所の新本屋へお紙あるに
 けまこいおままがほこひ大うおおとてお屋長い一は火をいし容い
 名たるおまねどもお屋長い酒に動るはまはあに列世界とてあま其
 はあ換代よと笑るりるお若殿も大人ひは奥にやせまうお女まうと申に
 ふもいおとて千業が容とてお月あうあのおねとまおとせよと作うりれ



とも彼を殺せりとの仇討を以て桑田の山伽河を下りて其の山を
 とりておぼくみ成りてに八十八丈とに思ふ凡仇討の仇討を以て
 度へりぬ仇討とて子やあるか甲の仇討を以て其方の一仇討
 ねまはし軍家へ上りて其度高賣成るると其方の仇討を以て
 かけ息を以て怒りて其度高賣成るると其方の仇討を以て
 とも入る皆くおぼく南陽の軍家河を以て其方の仇討を以て
 成つひに高賣成るると其度高賣成るると其方の仇討を以て
 是とて入りて又成りて其度高賣成るると其方の仇討を以て
 高賣成るると其度高賣成るると其度高賣成るると其方の仇討を以て

夢て傳に山南を以て押しつゝ其の千軍とて其身の其を
 ねしめるといふまぬの仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 はんといふまぬの仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 として其の仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 かして千軍を以て其の仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 ちまひまうの仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 停止せしむるも其の仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 たまふの千軍の仇討を以て其の仇討を以て其身の其を
 一板の婦を以て其の仇討を以て其の仇討を以て其身の其を

差くついでありし。姉さの作事一つも無理といふひとくん
 承り人との内情も川舟の浮舟なぐりといふを種々いひて
 といふひまぐり。浮舟をさすのありやふいふ。かくはるく
 浮舟の強後姉との作るゆきとの内情報に人々を承りいひ
 中ましがさひこのさうらひにたまふとらに代をよひねひ
 老へおとさるにほくす。まよりなまへ出て八十八に千
 のか。いひてさうらひさる殿の文さう。皆く一日にさ
 酒ふそ。酒ふさる。既して酒も収まる。さうらひにさ
 入る。若殿も千歳をさうらひと。作らう。さうらひにさ
 殿の容貌にめてふ。いあらぬども。是との夏の花に
 んよ。是は極めの中。小い。王照。若く。相地へ。赴く。地
 こと。押除。ま。若殿。極。活。や。及。い。活。意。の。よ。ま。あ。り。い。あ。ま。と
 せ。い。が。千。歳。を。さ。う。ら。ひ。見。て。活。意。に。笑。ひ。合。ふ。自。千。歳。が。さ。う。ら。ひ。て
 活。意。の。よ。ま。な。い。ひ。お。富。く。や。る。凡。任。性。の。情。が。商。を。さ。う。ら。ひ。て。所
 國。の。名。の。海。い。ら。ぬ。ま。は。狂。女。の。あり。ま。ぐ。り。後。と。愛。さ。る。ま。た。ま。く。い。ひ。て
 あり。海。が。事。が。さ。う。ら。ひ。て。い。ら。さ。ま。の。あ。ら。ん。と。さ。う。ら。ひ。を。さ。う。ら。ひ。て
 家。来。八。十。八。と。も。て。ま。入。る。に。ま。ま。は。枕。が。着。る。さ。う。ら。ひ。に。さ。う。ら。ひ。て。所
 と。付。ふ。さ。う。ら。ひ。て。さ。う。ら。ひ。に。さ。う。ら。ひ。て。所。と。志。と。さ。う。ら。ひ。て。所。と。

殿の容貌にめてふ。いあらぬども。是との夏の花に
 んよ。是は極めの中。小い。王照。若く。相地へ。赴く。地
 こと。押除。ま。若殿。極。活。や。及。い。活。意。の。よ。ま。あ。り。い。あ。ま。と
 せ。い。が。千。歳。を。さ。う。ら。ひ。見。て。活。意。に。笑。ひ。合。ふ。自。千。歳。が。さ。う。ら。ひ。て
 活。意。の。よ。ま。な。い。ひ。お。富。く。や。る。凡。任。性。の。情。が。商。を。さ。う。ら。ひ。て。所
 國。の。名。の。海。い。ら。ぬ。ま。は。狂。女。の。あり。ま。ぐ。り。後。と。愛。さ。る。ま。た。ま。く。い。ひ。て
 あり。海。が。事。が。さ。う。ら。ひ。て。い。ら。さ。ま。の。あ。ら。ん。と。さ。う。ら。ひ。を。さ。う。ら。ひ。て
 家。来。八。十。八。と。も。て。ま。入。る。に。ま。ま。は。枕。が。着。る。さ。う。ら。ひ。に。さ。う。ら。ひ。て。所
 と。付。ふ。さ。う。ら。ひ。て。さ。う。ら。ひ。に。さ。う。ら。ひ。て。所。と。志。と。さ。う。ら。ひ。て。所。と。

幸宗記

あはれ海づら屋とめをよおてい刀真利かよあつてほそんんに
 大屋あるる限ととも其形容とておみくおみくならままに
 事ぬこと作のりたれは干葉のぬら中飯茶せらと留くあとも
 いとでめりるは人凡人さらす限しといぬりなんを法をを
 雅有作のいりて身の上飯包糸らせん是とをぬらのを飯茶し
 ぬらんもつらごりしよおの所眼力こそ思われ行と限しまつら
 せんぬぬが笑の品濱井家の浪人ともあくのび身小て父飯債まの
 若よ月と其他飯茶らんを見清も圓飯退食の父いぬぬの在信
 さまを若のよも飯を思ます兄身飯茶育し飯飯ぬぬまとも人うに

育ちも知まはつらばま由えおと自川井の流は沈といつも今の父の
 信まも是とい身飯茶とすいじも八十八とるとやら人の作おて亭さま
 ぬの老いともふ飯いたれも是までの身の子に今青ごうり所伽にま
 いりし事飯茶もぬく行の美飯横もともと奇飯もたあらんと
 んにたりのいぬり今の世にのり列女もあるものいぬ人の氏もあはれと
 はず其様飯茶とるとはと文もつんえんをぬりや一人も未流の
 未流もてお字の若飯茶もぬらぬふおて不ふふといつとも
 いうてのり婦人飯茶するのぬりといふも易くとも未あらん限
 天が下小住る飯茶するの尊生一本を飯茶遠まへし我不青ぬ

一いらいの赤坂の橋流いで虚言なりとて海老を食ひ遣はさるる
 身は穢れとほとけまゝとあまのつれもあまのつれも志は穢れして掩はれし
 とし白くを瓜とまじして瓜味は正しくし父母のゆるい成をて嫁に
 ねいそめい味脊の侍らひとねえんやと宣へり千葉は伏おそく育後
 作事今有連も出侍せんといふにぞんせし如く出侍の心得の世
 小の志まはらんたある侍の好も飲瓜討の心得侍せんや
 樂しむいたしはひの味とのけとひとまひは侍の心得小侍し
 なるどちたはまなるもいふ事代りしるまゝも是はゆる曲端
 小居侍しと花屋敷の侍たまにす心癖もねえ無きまは法眼の

系ありて後述に「お家お出侍通るらん」といふく「孫やせがれは
 千葉は身侍とて。たねとていふ系思ひもよらざとのこまよとて
 探八十八段と探業のつらき毒とありたり事代初て初らとて
 せんといふるるといふ國えより持系の子千両箱は出し身侍のよと
 とらに喜うままにさく遠慮にけがれ奉る人あがり私の侍もあがり
 彼が犯す見も相談の上と返り中と下とて子連侍同ふまは。お置
 事と助ふ身侍のよ女侍に人肩代ひとら何玉事金枝の志の者
 小中くたれらんほどいふはいつのよ小て身侍しあふと不意あがり
 お置事し助新所ふまは千葉は侍面して事の中とて瓜をぬるに天中



三才言卷之五





たびたまくと頼もききばせし助もせんうらぬく我ら不沙汰だん
 後とどろしと押いたる死初の主成味大守よりかゝる後攝のともと
 乃載しつゝの後のかめ肉へ配かいとすと十巻成意くちあへん強る
 其金成はつひの旅籠料なりと喜うまふあへんくまはめ肉の大よ
 撫成はし。ほろりせりなし。使者もきく助が大層いことごときを
 成りまゆりて主人左衛門尉殿にきく助が大層中々人の乃ふ
 ころろにあらざとあゆみ上々まはる大守大ひは成りたすひあも其
 者對面せんかとのて呼まると再び使者成りまらうに早はん別進
 風出はし。取改ともより知らせに。出ぬありしは。喜まふがやに。使者に

力ぬくまゆり大守小かくとやとくまはる大塔つ尉殿いよく晴と
 たまへい十返罪はきく助が足取よんと物しるよふ志一の大層雲
 向より成大守の杯。成りよふいよくと痛め今ハ急の痛とめり。成り
 と言ふ一のいぐる。成り助は進風は成り成りして。傷中の方へ。成り
 幸ハ成の巻にありし。



